



福島県指定天然記念物

【護真寺のサクラ】

指定年月日

昭和51年5月4日

所有者(管理者)

護真寺(護真寺檀家)

所在の場所

福島県岩瀬郡長沼町大字横田字北之
後158番地

概要

- (1) 樹種…エドヒガンのシダレ
 - (2) 樹高…15メートル
 - (3) 根周り…5・8メートル
 - (4) 目通り幹周り…4・2メートル
 - (5) 推定樹齢…450年
- 開花時期
4月上旬

その他指定及び登録

福島県緑の文化財(登録202号)

サクラの特徴

観応二年(二三五年)に本禅等
扱禅師によって護真寺が開山された
折りに植えられたと伝えられており、
満開時に老樹を覆う赤味がかった淡
いピンク色の花は、まるで一幅の画
のような趣を観る者に伝えています。
また、古くからこの桜の花が咲き
出すのを見て土地の農家が播種作業
に入ったことから、別名「種まき桜」
とも呼ばれています。

交通

- ① JR須賀川駅より長沼行き(横田
経由)バス40分/横田下車徒歩5
分(福島交通)
- ② 東北自動車道須賀川ICより国道1
18号線を会津方面へ15分



【横田山護真寺/よこたさんごしんじ】

横田山護真寺は、観応2年(1351)に
本禅等扱禅師によって開山されたと伝えられる
臨済宗の古刹です。
境内に続くおよそ150mほどの参道両側には桜が植えられ、
享保年間に立てられた本堂
(江戸時代:長沼町指定文化財)には、
ヒノキの寄木造りで後期宋朝様式の特徴を有する
本尊宝冠釈迦如来座像
(鎌倉時代末:福島県指定重要文化財)や
三幅の不動尊画像(江戸時代:長沼町指定文化財)
といった、多くの文化財が今に伝えられています。
近年、檀家の皆さん方の手による境内整備が行われており、
隠れた桜の名所として注目されています。